



# 議会だより

No.232

2026.1.31



市議会ホームページ

● 令和7年12月定例会 ●

編集発行：加茂市議会 〒959-1392 新潟県加茂市幸町2丁目3番5号

TEL：0256-52-0080（代表） FAX：0256-53-4684

HP：https://www.city.kamo.niigata.jp/ E-mail：gikaijimu@city.kamo.niigata.jp



多様な議論を重ね、  
歩みを進める加茂市議会



## 加茂市議会による3月議会報告会（座談会）

次の通り開催を予定しています！

**日時** 令和8年4月18日（土）9：30～

**場所** 加茂市役所 5階 全員協議会室

**主催** 加茂市議会

**申込先** 加茂市議会事務局 ☎52-0080（内線512）

3月定例会は3月4日（水）～3月17日（火）を予定しています。

加茂市議会の  YouTube  
チャンネルを開設しました

加茂市議会からのご案内や  
一般質問等、議会の活動を  
皆さまにお届けいたします。



YouTube

加茂市議会

🔍 検索

誌面や加茂市議会へのご意見・ご要望がありましたら 加茂市議会事務局 ☎52-0080（内線512）まで

# 12月定例会 議案審議

開会 令和7年12月4日  
閉会 令和7年12月15日

12月定例会の議案等は

市長提出議案… 22件  
議員提出議案… 1件  
請願… 1件  
陳情… 2件

今号は12月定例会の議案から令和7年度加茂市一般会計補正予算（第11号）をピックアップしました。全ての議案等の内容と結果は、加茂市ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

## 請願・陳情とは？



みなさんの声を市議会に届けるためのしくみです。暮らしの中で感じた要望や意見を伝える際に活用できます。（詳しくお知りになりたい方は、議会事務局までお問い合わせください。）

※ Q…質問 A…答え

## PICK UP

第91号議案

令和7年度加茂市一般会計補正  
予算（第11号）

第91号議案は、アーバンベア捕獲緊急支援事業にかかる補正予算でした。

クマの出没件数が過去最多を更新しました。新潟県は、クマ被害に対する緊急対策を実施することにしました。アーバンベア捕獲緊急支援事業はそのうちの一つです。令和7年11月20日から令和8年1月31日までの事業期間とし、新潟県は約8000万円の予算をつけました。

このうち加茂市では、232万6000円の補助金を受けて、有害鳥獣対策費を計上する補正予算案が上程され、議会ではこれを可決しました。この補助金は、クマ用捕獲檻等の購入、その他消耗品の購入や従事者への報償金の支払いに充てられる予定です。

### こんな質問がありました

**Q** 従事者への報償金は8日分と説明があったが、従事日数が8日を超えた場合の対応はどうするのか。

**A** 当補正予算は、令和8年1月31日までの間に、市街地か市街地周辺にクマが出没したときの対応に関するものである。従事日数が8日を超えた場合は、既決予算内で対応する。

**Q** アーバンベアのアーバンの定義はどのように理解すればよいか。たとえば、七谷地区の

集落もアーバンに該当するのか。

**A** 基本的に市街地、市街地周辺でクマが出没した場合を想定している。市街地周辺について具体的には、住宅から200m以内と位置づけされている。

### 討論・採決

討論なし  
全会一致により可決。

## 特定外来生物等の 分布把握と駆除について



会派青天  
大橋 一久



視聴はこちら

### 質問の意図



**Q** 特定外来種への対応について問います。セイタカアワダチソウが拡く分布しました。オオキケンケイグクやアライグマが増えています。これらの対応を考えると、県央基幹病院と加茂病院の

役割分担や運営への評価についてどうか。これからの加茂の持続可能な医療体制を考えます。最後は、可燃ごみの三条市への委託において分別基準はどうか。雑がみの違いから分別を考えます。

**Q** 近年市民の方から、アライグマ

がいる、オオキケンケイグクが出ているとの話を伺います。市としての把握状況は。市民の方々と一緒に防除活動を行ってはどうか。市民の方々と一緒に早期発見・迅速な駆除、通報体制を整え対応ができないものでしょうか。

### A

等、持続可能な加茂の医療体制を市民の方々との共有が必要なものではないでしょうか。

医療再編によって地域全体が一つの病院として機能しているか評価しています。「上手な医療機関のかけ方」というパンフレットを全戸配布した。適切な医療機関の利用を周知していきたい。

### Q

**Q** 可燃ごみの三条市への処理委託が将来開始される方針だが、分別の違いによって市民の皆様へ混乱が生じないか心配をする。雑がみを地域資源へ。雑がみ回収を行い、可燃ごみの減量を。

### A

すぐに導入することは難しいですが、今後は各関係者との調整を図り、雑がみ回収の実施を検討していきます。

**Q** 県央基幹病院開院と加茂病院が

指定管理者制度となり2年となる。実際の運営について市としてどのような評価がなされているか。急性期医療、慢性期医療の違い、地域密着型病院の役割、加茂病院と個人医院の連携

### 質問の意図



**Q** 市内にある様々な名園を調査し登録、また年間を通して、あるいは季節ごとや数日間の公開が可能な庭園のリスト、ガイドによる案内等の研究検討を市として行えないものか。

**Q** 「加茂市内の庭園活用」

庭園の景観的な価値や技術的価値などは、これまでの観光では深掘りしてこなかったため、今後、社会教育課や関係機関とともに研究検討を行いたい。数々の課題をクリアすれば、観光資源として活用していくことができるかと考える。

### A

「加茂市における古民家を含んだ歴史的建造物の活用」

**Q** 黒水の旧七谷郵便局舎や上条の旧加茂製材事務所棟は文化財であるが、カフェとして再利用さ

## 「八十里越え(国道289号線)2026年 秋開通に向けた加茂市の観光資源について



大志の会  
森山 一理



視聴はこちら

事現場を視察した。雪が降ると工事が出来ないので急ピッチに進められていた。トンネル・橋はほぼ完成。福島県只見町には新潟県に在るような立派な庭園が見当たらなかった。観光マップに付け加えられないか。

れた。これらは加茂市の地域活性化に大いに寄与しており、今後このような人物が現れるのではないかと期待するが、その際には行政としての後押しが必要ではないか。

### A

加茂市の指定文化財全般への予算措置が限られているため、古民家などの利活用に対して十分な支援を行うことは困難な状況である。利活用にあたっては、調査の実施や公開・非公開なども含めて慎重に協議を進める必要がある。

なお、令和8年4月12日に開催される第60回雪椿まつりに「八十里越え開通記念事業」という冠を付けて三条市、只見町、南会津町と連携した取り組みができるよう検討を始めた。

・中学校部活動の地域移行について  
・鳥獣対策について



大志の会  
滝沢 茂秋



視聴はこちら



質問の意図

青少年の健全な成長において部活動が果たしてきた役割は大きく、その良い面は地域移行後も継承されるべきです。より良い活動環境の実現にむけ、学校統合後の体育館の活用など提案も含め質問しました。

鳥獣対策は9月定例会の質問から継続した内容です。サルやクマの出没は、生命や暮らし、そして観光資源にも影響しかねません。対策の現状と課題の確認をしたうえで、新たな提案を行いました。



質問の意図

職員の半数に当たる約200人が会計年度任用職員として働いています。その男女比について伺いたいと思います。図書館は、その役割からしても、開館時間、夏休み特別開館の復活について再考を求めたい

職員は、給食費を1か月4700円程度自治体に補助する案を軸として検討を進めています。超過分を保護者負担にせず、完全無償化を検討すべきと考えます。

会計年度任用職員、図書館の運営と今後の見通し、学校給食の無償化について



市政倶楽部・日本共産党  
杉田 優子



視聴はこちら

Q かもんクラブについて、指導経験者の確保が難しくなっている。人材バンクを設け、精通する市民を公募してはいかがか。

A 指導者の確保は、県が設置している「にいがた地域クラブ活動指導者バンク」などが活用可能であることから、独自の指導者バンクを設ける必要はない。

Q 学校統合により空く体育館の床を改修し、屋外スポーツの練習場として活用してはどうか。

A 複数の競技団体や市民から同様の意見がある。冬期間における子どもたちの遊び場や、屋内公園的な機能、イベント会場としての利用も期待できることから、重要な視点の一つとして参考させていただく。

Q 鳥獣対策について、新たに導入

したサル捕獲用大型わなの稼働実績を聞く。

A まだ餌付けをしている段階で稼働実績はない。設置当初2、3頭が入る状態から、今では多くのサルが檻内に侵入している。瞬間最大値で15頭ほどが一度に檻内に侵入しているが、焦らずに一斉捕獲を進めたい。

Q 加茂山は日常利用者と観光客が混在し、観光資源を守るうえで

も鳥獣対策が重要と考える。そこでA-1カメラによるリアルタイム警戒システムの導入を提案する。

A 令和8年度から試験的に導入を

予定している。まずは1年間のトライアル期間を設け、その成果を検証したうえで、本格導入を判断したい。

Q 会計年度任用職員の男女比はどのくらいですか。また、社会保険の加入条件を満たしている人は何人いますか。

A 現在、加茂市役所における人数は、男性77人、女性226人の合計303人であり、男女比は約1対3となっています。このうち社会保険に加入している人は180人です。

Q 図書館の夏休み特別開館を復活させるべきと思いますが、どうですか。

A 夏休み臨時開館廃止の一番の理由としては防犯及び利用者の安全確保の観点から決定したものですので、その点をご理解いただきたいと思います。

Q 小学校の給食費を完全無償化にしてはどうですか。

A 国の補助制度では、小学校給食費の全国平均である月額4700円を基準に補助する方向で検討が進められているようです。国の補助額についても、実際にはその何割になるのかわかりません。国の補助制度をできる限り活用しながらも、不足する分については、制度上可能であればこれまでどおり保護者の皆さまにご負担いただく形を基本にしようと考えています。今後、国の制度の詳細が明らかになったら段階で、改めて市としての対応を検討していきます。



## 二十歳を祝う会と Uターン政策について



会派青天  
山田 宗



視聴はこちら

### POINT!! 質問の意図

公共施設再編アクションプランや財政シミュレーションなどが進むにつれて、加茂市の未来に漠然とした不安を抱く市民が多くなったように感じます。二十歳を祝う会を通して先輩世代

から若者世代へ、加茂市が基金を開設し寄付金を募る事で未来への社会的投資事業を行い、Uターン率の向上を図るべきと手法も含めて具体的に提案しました。

**Q** 過去3年、新成人の転出数の割合はどうか。

**A** 令和4年度、143人中13・9%の20人。令和5年度、186人中8・1%の15人。令和6年度、185人中10・3%の19人である。

**Q** 過去3年、加茂市へのUターン者数と年齢構成はどうなっているか。

**A** 令和4年度は142人。令和5年度は163人。令和6年度は155人である。年齢構成は、60歳代以上が8%、40～50歳代が22%、30歳代が24%、20歳代が38%、10歳代以下が7%である。

**Q** 国民負担率が年々増加しており、若者世代への負担も増加している。二十歳を祝う会を通して、若者がやりたい事ができる

**A** 未来への社会的投資事業を行うてはどうか。そしてこの事業原資を、加茂市が基金を創設し地域の先輩方から寄付を募ってはどうか。

**A** 二十歳を祝う会で、若者がやりたいことができるように、世代を超えて支援する事業を実施すべきというご意見は、そのとおりだと思う。市としても実行委員会の皆さまの主体的な取組を支援しながら、一生の思い出に残る式典になるように、ともに考えていきたい。



## 加茂市の魅力向上と 地域活性化について



公明党  
三沢 嘉男



視聴はこちら

### POINT!! 質問の意図

近年、地域ならではの独自の魅力を作り出し、持続可能な取り組みを行う自治体が増えていきます。ターゲット層を定め、情報発信やイベントなどを通して、戦略的に魅力を高めることは、地域活性化や賑わい創出に

繋がりが、今の加茂市に必要と考えます。また、加茂市に住む子ども達が楽しみながら魅力を感じてもらえることは、郷土愛の醸成にも繋がりますので、更なる魅力向上の取り組みについて質問いたしました。

**Q** 市には魅力ある撮影スポットが多くある。継続したフォトコンテストを開催し、SNSなどを通じて魅力を発信してはどう

**A** フォトコンテストの開催は、魅力向上に資する有効な取り組みであると思う。市が主催するかどうかも含め検討したい。

**Q** 近年、地域の魅力向上を目的とした観光周遊型謎解きイベントを取り入れる自治体が増えてい

**A** る。若年層やファミリー層の参加が多く、加茂市を知らない世代に対し、認知や魅力を感じてもらえる機会になると考えるのがいいか。

**A** 謎解きゲームが効果的な取り組みであることは間違いないと思う。その一方で、コロナ禍以

**Q** 降、民間の方の観光に対する考え方が変化し、自発的な取り組みが増えてきていると感じるので、民間の動きを止めることなくサポートすることが市の役割であると考えます。

**Q** 観光庁では、地域観光魅力向上事業という補助金制度がある。公募によるものだが、採択基準として80%以上を地方部とするよう優先的に採択する枠組みとなっている。市も率先して取り組んではいかがか。

**A** 今年度、市内事業者が申請した中で2件の事業が採択され取り組みが進んでいる。この事業は地方公共団体でも申請できるものなので、実施したい内容と合致するものであれば積極的に活用していきたい。

## 複合施設整備事業及び給食センター 整備事業の整備手法等について



会派青天  
森 友和



視聴はこちら

### 質問の意図



複合施設の整備事業については優先交渉権者が決定しました。この後、建設が予定されている給食センターについて、どのような点がポイントになるのか伺いました。  
また、医療環境についての質

問では、加茂市に住む人にとって、将来どのような医療環境が想定されるのか、自治体が想定する更その先を見据え、市民が主体となり、知見を重ね準備していくことが必要ではないかと思えます。

**Q (仮称) 加茂市給食センター整備事業**にあつては、どのような点を参考に、また考慮しながら整備手法を決定するのか。

パンフレットを県央5市町村と各医師会、県央基幹病院や加茂病院などと三条保健所が共同で作成し全戸配布した。

**A** 複合施設整備事業における事業者選定プロセスを参考にしながら、現在策定中の基本計画の中で、従来方式、リース方式、DB方式、DBO方式、PFI方式など、どの手法が本事業に最も適しているかを比較・検討したうえで、決定していきたい。

さらに、広報かも12月号より、県央基幹病院の受診に関するお知らせや診療科の紹介などを定期的に掲載し、適切な医療機関の利用を周知していきたい。また、医療予防や介護予防の理解を深めていただくために、市内各所で開催している「通いの場」などの健康づくり事業の促進にも努めていきたい。

**Q** 市民の新しい医療体制に対する理解の促進や予防医療に対する意識の醸成について、市はどのようにお考えか。

令和7年1月に、県央地域内の病院の役割や受診の仕方などがわかりやすく書かれた、「上手な医療機関のかかり方」という



## 9月議会報告会 (座談会)

令和7年10月4日(土)に議会報告会を開催しました。

また、議会改革特別委員会から座談会参加者の皆さんに、議員定数や議員報酬を含めた議会の在り方についての意見を伺いました。

### 令和6年度決算審査報告

9月議会では、令和6年度決算審査が行われました。報告会では、決算審査にかかる採決の概要に加え、議員が決算書のどのような点を見ているか、また、決算書以外では主要施策の成果報告書などの資料をもとに審査を行うことを説明しました。

#### 参加者

歳入に、未納額があるが、これについての対処、処分はきちんとされているか。

#### 議員

未納額はきちんと把握・対応がなされており、処分にあつては不納欠損額も記載されている。

## 令和6年度決算における財政状況について

令和6年度決算時点での加茂市の財政状況について、令和5年度決算との比較を行い説明をしました。

#### 参加者

加茂市の財政状況は改善しているのか。依然として厳しいとの声も聞く。

#### 議員

改善してきたとは言え、長期的な視点で考えると、安心できるものではない。

### 議員定数や議会費について

#### 意見

議員の活動にはお金もかかる。活動している人には今の政務活動費は少ない。

#### 意見

若い人からも議員になつてもらいたい。議会から議員になるためのセミナーや見学ツアー等を計画し、立候補者への働きかけがあるとよい。

#### 意見

女性の議員のなり手などは、他市町村の取り組みを参考にしたい。

# 令和7年度 行政視察報告

## ◆総務文教常任委員会

日程 令和7年11月7日

### 視察先 長岡市

長岡市では、DX推進部行政DX推進課が中心となり、平成30年よりRPA (Robotic Process Automation) の試行を開始した。翌年令和元年から本格導入をし、一方で同年からA I I O C Rを試行し、令和2年より本格導入を行っている。令和4年には100業務1万8600時間分の業務削減の成果を得ている。

エンジニアがRPA・A I I O C R実装支援の業務も担い、行政DX推進課とともにサポートにあたる体制をとっている。

現場の事務処理にかかる業務効率の改善となるため、市民のサービス利用には直接的な影響は大きくないものの、窓口業務のオンライン化や手書き文字の電子情報化等との関連性は高く、窓口から業務処理に至る一連の業務プロセスにおいて、効率化が大いに期待できる事業であった。RPAの対象業務の選定の状況を見る限り、現場業務のこういった内容を自動化するかというレベルでの話であり、比較的細かい業務単位で自動化させるため、地方公共団体情報システムの標準化・共通化により、既に現場で設定していたRPAによる業務の自動化は一部不要になってくる可能性はあるものの、大きな影響はないと感じた。

※RPAのイメージ…人がパソコンで行っている決まった作業を自動で処理する仕組み

※OCRのイメージ…紙文書の文字をコンピュータが読み取り、コンピュータが理解できる文字として扱えるデータに変換する仕組み

## ◆産業民生常任委員会

日程 令和7年8月25日～27日  
令和6年に引き続き、八十里越街道の開通に向けての各自治体の観光戦略の視察と加茂市の観光PRを行った。

### ①視察先 栃木県那須町

那須町は観光カリスマ山田桂一郎氏の助言を得て観光DXやインバウンド観光の推進、観光施設の高付加価値化に取り組んでいる。2026年には宿泊税導入も予定されている。豊富な資源を戦略的に活用する観光政策が印象的で、今後の施策に役立つ学びが得られた。

### ②視察先 福島県昭和村

昭和村では、廃校となった喰丸小学校を交流・観光拠点へ再生し、住民企画の場として活用している。また、カスミ草やからむし産業は担い手支援により移住促進にも結びつき、伝統を守りながらブランド化に成功している。小さな村が資源を活かす姿勢は加茂市にとっても示唆を与えるものだった。

### ③視察先 福島県金山町

金山町は「世界一ロマンチックな鉄道」只見線や沼沢湖、天然炭酸水、天然炭酸温泉、夢幻峡などの多彩な観光資源を活かし、八十里越開通を見据えたPR施策や広域連携を進めている。八十里越スタンプラリーの地図に加茂市の特産品等が掲載されていなかったことから、観光・特産品のPR強化の必要性を認識した。

### ④視察先 福島県下郷町

下郷町は観光ガイド養成事業の実施やクラインガルテンの整備など着地型観光・ニューツーリズムを積極推進している。フォトツーリズムで新たな客層を開拓し、台湾客を中心にインバウンドも拡大している。大内宿は「売らない・貸さない・壊さない」で景観を守り、生業として成立している点が印象的で、加茂市の観光戦略にも参考となる内容であった。

# 12月定例会 議案等審議結果

議案番号	件名	結果
<b>議員提出議案</b>		
13	新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取組を求める意見書	原案可決
<b>市長提出議案</b>		
70	令和7年度加茂市一般会計補正予算（第9号）	原案可決
71	令和7年度加茂市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	〃
72	令和7年度加茂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	〃
73	令和7年度加茂市介護保険特別会計補正予算（第2号）	〃
74	令和7年度加茂市水道事業会計補正予算（第4号）	〃
75	令和7年度加茂市一般会計補正予算（第10号）	〃
76	令和7年度加茂市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	〃
77	令和7年度加茂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	〃
78	令和7年度加茂市介護保険特別会計補正予算（第3号）	〃
79	令和7年度加茂市水道事業会計補正予算（第5号）	〃
80	令和7年度加茂市下水道事業会計補正予算（第2号）	〃
81	加茂市個人番号の利用に関する条例の一部改正について	〃
82	新潟県加茂市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	〃
83	新潟県加茂市職員の給与に関する条例の一部改正について	〃
84	加茂市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	〃
85	加茂市議会議員及び加茂市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部改正について	〃
86	加茂市議会議員及び加茂市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正について	〃
87	加茂市看護職員奨学金条例の一部改正について	〃
88	加茂市農業委員会の委員等の定数に関する条例の一部改正について	〃
89	加茂市・田上町消防衛生保育組合理約の変更について	〃
90	新潟県市町村総合事務組合理約の変更について	〃
91	令和7年度加茂市一般会計補正予算（第11号）	〃
<b>審議した請願</b>		
4	新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に向けた取組に関する請願	採択

**議員賛否の状況** 審議結果の賛否が分かれた議案（上の表の網かけ部分）について、賛否を公表します。

議案番号等	採決の種類	結果	賛成	反対	棄権	会派青天				大志の会			市政倶楽部・日本共産党				国民民主の会	公明党
						山田宗	森友和	大橋一久	白川克広	佐藤俊夫	滝沢茂秋	森山一理	近藤ゆみ	田中雅史	杉田優子	関龍雄	森川豊	三沢嘉男
82	条例	起立可決	11	1	0	○	○	●	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成、●は反対、白川克広議長は採決に加わらない。※採決の種類：起立は起立採決。

## アンケートのお願い

いつも議会だよりをお読みいただき、ありがとうございます。

広報広聴特別委員会では、「議会だより」がより読み易くなるように改善していきたいと考えています。

また、議員定数や議員報酬、議員のなり手不足への対応など「議会の在り方」を検討するために令和7年9月に議会改革特別委員会を設置しました。市民のみなさんの意見を参考にしたいと考えています。

ぜひ、アンケートの回答をお願いいたします。



議会だよりのアンケート



議会改革検討のアンケート

### やりかた

- ① スマートフォンのカメラを起動
- ② 中心を左の枠内に合わせる
- ③ URLが表示されたらタップする